

音楽は元気の源！

わだともゆき ～和田知之さん～

和田さん（77歳）は、旭川の師範学校卒業後、炭鉱の実業団でスキーの大回転やバレーボールの選手として活躍。閉山後は札幌へ。サラリーマン生活の傍ら、「北海三郎」として全道各地の歌謡大会に出場し、退職後の今でもアコーディオンを片手に芸能活動を続けています。また、新琴似で歌謡教室、書道などの講師もしており、地域の有名人となっています。



新寿会の皆さん（前列左が和田さん）

麻生町を「あさぶちよう」と読む人が多いことを知り、正しい読み方の「あさぶちよう」を広めようと、平成16年に『亜麻のふる里麻生町』という歌謡曲を制作し、話題となりました。『♪北の五叉路を踏みしめる～亜麻の名残の麻生町♪』歌詞は亜麻栽培の歴史を調べたり、五叉路に座って、亜麻の畑の様子を想像しながら作りました」と語る和田さん。今年6月には「新琴似お宝再発見事業報告会」で活動の成果がたたえられ、特別賞を受賞しました。

また昨年4月に、新琴似の老人クラブ「新寿会」の会長に就任。同会では、カラオケ教室・社交ダンスの講師も務めています。健康の秘訣は、大きな声を出すこと。そこで自ら作った合言葉は「さあ！頑張ろう！さあ！頑張ろう！」「頑張りま～す！」。みんなが笑顔で活き活きと過ごすための活力にしているそうです。



「頑張りま～す！」

緑豊かな地域を目指して

たかしまひさよし ～高島常嘉さん～

醤油製造会社に勤務し、16年ほど本州に単身赴任をしていた高島さん（67歳）。退職後、地元屯田地区に戻り、小学校の同級生で町内会活動をしていた友人から地域活動に誘われ、屯田地区センターの館長に。平成21年から、地区センター前の花壇をきれいにしようとしてガーデニングを始め、地域の人たちとともに、緑を増やすことを目的とした「シーディーサウンダープロジェクト（SSP）」を立ち上げました。



花の植え替えをする SSP メンバー

SSP では昨年、江南神社前の花壇を「風の道ガーデン」と名付け、手入れを始めました。高島さんは「屯田地区は風が強いので、この名前を付けました。今後は地域の皆さんと協力しながら東15丁目屯田通の升花壇もチャレンジしたいですね」と意気込みを語ってくれました。SSP 代表の櫻木和夫さんは「高島さんの横のつながりがあるからこそ、地域で活動を広げていけると思います。花でいっぱいにすることで、屯田地区がさらに明るく元気になればいいですね」と話していました。



「風の道ガーデン」の説明をする高島さん

【SSPの問い合わせ】 ☎ 080-1321-5537（高島）

老人クラブに参加しませんか？

今回ご紹介した、さわやか1・3クラブや新寿会などの老人クラブでは、地域貢献活動や趣味の活動、メンバー同士の交流などさまざまな活動を行っています。

詳細は、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ】

保健福祉課活動推進担当 ☎ 757-2470



7月の北区老人クラブ連合会女性研修会では新琴似三和長生クラブのレクダンス部長板東みのりさん（82歳・写真中央）が「健康体操」の講師を務め、懐かしの曲で踊りながら楽しく健康づくりを行いました。